

競 技 注 意 事 項

1 競技規則に関して

本大会は、2019年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項及び競技注意事項、申し合わせ事項によって実施する。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は補助競技場を原則とする。ただし、砲丸投の練習については、監督が付き添いの下で行うこととする。補助競技場での練習は競技役員の指示によって行う。
- (2) 室内走路は、悪天候時のみの使用とする。使用の判断については総務で行い、アナウンスした場合のみとする。
- (3) 更衣室として男女の更衣テントを第1ゲート付近に準備する。貴重品は各自で管理する。
- (4) 救護本部は、本競技場1階医務室に設置する。応急処置のみを行うものとする。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は**本競技場第1ゲート外側**に設置する。なお、招集所に入場できるのは招集を受ける選手のみとする。
- (2) 招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準とし、以下の通りとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	予選・決勝	30分前	15分前
フィールド競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	60分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前
四種競技	トラック競技	30分前	15分前
	フィールド競技	60分前	40分前

(3) 招集の手順

- ①競技者はIDカードを携帯し、招集所入場の際には係員に提示すること。
 - ②競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・スパイク・衣類及び競技場内へ持ち込む物品の点検を受けること。(競技場内のスパイクピンの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳は12mm以下とする。)
 - ③ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話・通信機器等外部との連絡可能な電子機器類は持ち込まない。
 - ④リレーのオーダー用紙は予選、決勝とも招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。
 - ⑤リレーを兼ねて出場する者は、必ず競技者係に申し出て、競技進行に支障のないようにすること。
 - ⑥四種競技出場者は、四種目全て招集所内の四種競技招集所で(3)の②にしたがい競技者係の点呼を受ける。
 - ⑦招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
 - ⑧競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集開始時刻までに競技者の所属する各中学校の監督がその旨を所定の用紙(棄権届)に記入し、招集所の競技者係に提出すること。(用紙は招集所に用意する)
- (4) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技について競技順を変更して出場させることもある。

4 競技運営に関して

- (1) 競技運営上、競技日程およびピットを変更することがある。
- (2) 男女別学校対抗とし、得点の合計により順位を決める。同点の場合は、1位決定の場合に限り優勝者数により決定する。優勝者数が同数の場合は、最上位の入賞者で決定する。その他の順位については同順位とする。得点は1位8点、2位7点～8位1点とする。なお、同順位の場合は人数割で配点する。
- (3) 競技者の変更は認めない。
- (4) トラック・フィールドには、その競技に出場する競技者以外立ち入りを禁止する。
- (5) 危険防止のため、短距離種目(リレーを含む)は、決勝線を通過後も自分のレーン(曲線)に沿って走り、その他の競技者の妨害をしないようにすること。
- (6) トラック競技の決勝については、主催者が公正に組み合わせをし、その結果を記録掲示板に掲示する。

- (7) タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、同記録者があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、1/1000秒まで精査して優劣を判定して出場者を決める。それでも決められないときは、本人もしくは監督による抽選とする。
- (8) 1500m以上の競技は、記録により次のラウンドへ進出者を決める。同タイムの者がいる場合は、前項(7)の規定によらず全て決勝に進出できる。
- (9) 走路順・試技順は、プログラムに記載されている通りとし、欠場者のレーンは空ける。計時は、原則として電気計時(写真判定による1/100秒)とする。
- (10) リレー競技においては、同系色のユニフォームを着用する。
- (11) リレーは学校単独チームとする。一人の選手は、リレー2種目を兼ねることはできない。また、チーム間にまたがるメンバー変更もできない。低学年4×100mRの登録は6名以内とし、同一学年の最大人数は4名までとする。メンバーは2年生2名、1年生2名とし、オーダーは自由とする。
- (12) リレー競技のマーカー使用は1ヶ所とする。(大きさが最大50mm×400mmの粘着テープ)(競技規則第170条㉑を適用)またマーカーは各校で用意し、使用したマーカーはそのチームで処理する。
- (13) 男子共通3000mは、グループスタート(2段スタート)で行う。
- (14) 男子共通3000mでは天候に応じて給水を設ける。
- (15) トラック競技において、スタート地点で脱いだ衣類等は主催者側で準備したビニール袋に入れ、ゴール地点に主催者が運搬する。
- (16) 競技者に対する助力については、競技規則第144条3・4を適用する。フィールド競技ではコーチングエリアを設ける。その利用は、監督IDカードを携帯した者が、競技者とコミュニケーションをとる場合のみとする。ただしエリア内に常駐しないこと。
- (17) 四種競技において、最終種目(男子400m・女子200m)の番組編成は行わず、プログラムに記載されているレーンで競技を行う。
- (18) トラック競技において、不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、四種競技においては、2回目にフライングをした競技者はすべて失格となる。
- (19) リレーのテイク・オーバーゾーンは30mとし、ゾーンの入り口から20mが基準線となる。
- (20) スタート時の不適切行為は、注意とする。ただし、同競技者が2回目以降も不適切行為を行った場合は不正スタートとし失格とする。

5 抗議と上訴について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、各県の代表者(委員長)を通じて行う。その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に審判長に対して口頭でなされなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。)
- (2) 抗議に対しては審判長は速やかに裁定する。それを不服としてさらに上訴する場合は、「上訴申立書」に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて大会本部に申し出ること。

6 競技場の入退場について

- (1) 本競技場、室内走路への入場はIDカードを携帯し、全て係員の指示に従うこと。競技者のスタート地点・ピットへの移動は、競技者係の誘導により入場する。
- (2) トラック競技の競技者は、ゴール後に第1ゲートより退場する。リレーに出場した選手は、競技終了後、競技役員の指示に従って退場する。
- (3) フィールド競技の競技者は、係員の指示に従って退場する。

7 ナンバーカードについて

- (1) 本大会指定のナンバーカード(男子は白地に黒字、女子は白地に赤字)、腰ナンバーカード(白地に黒字)を使用する。
- (2) ナンバーカードは一人2枚(安全ピン8個付)を配付する。ナンバーカードは配付されたままの大きさと、ユニフォームの胸背部に確実に固定する。ただし、跳躍競技は、胸部または背部どちらか一方でよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側の上部やや後方につける。腰ナンバーカードは招集所で配付する(シール式)。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m60・1m70	1m65-1m70-1m75-1m80-1m83 以後 3cmずつ上げる
	女子	1m35・1m45	1m40-1m45-1m48 以後 3cmずつ上げる
棒高跳	男子	2m90・3m50	3m00-3m20-3m30 以後10cmずつ上げる
四種競技 走高跳	男子	1m40・1m55	1m45-1m50-1m55・・・1m70 以後 3cmずつ上げる
	女子	1m25・1m35	1m30-1m35-1m40-1m45-1m48 以後 3cmずつ上げる

- (1) 天候その他の関係で変更することがある。
- (2) ジャンプオフ（第1位決定）のバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm刻みとする。
- (3) 棒高跳の支柱移動申請書は提出しない。競技開始前に跳躍場にて、競技役員に直接申し出ること。
- (4) 練習の高さは、上記の中から希望により、いずれか一つを選択し、公式練習時に跳躍審判員に申し出ること。

9 用器具について

競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳用のポールに限り、個人所有のものを使用できる。個人所有のポールは競技場所での競技役員から検査を受け、合格したものに限る。

10 表彰について

- (1) 男女別学校対抗とし、得点の合計により順位を決定する。同点の場合は、1位決定の場合に限り優勝者数により決定する。優勝数が同数の場合は最上位の入賞者数で決定する。また、6位まで賞状を授与し、優勝校には持ち回りの優勝杯を授与する。2日目競技終了後、閉会式の中で行う。
- (2) 各種目の8位までの入賞者に賞状を授与する。
- (3) 表彰を受ける競技者は係員の指示に従い、競技終了後ただちに入賞者控席（室内走路）に移動し、ユニフォーム姿で待機する。ただし、入賞者にリレー出場者がいる場合、1日目の1年女子100m決勝以降の種目については、リレー予選終了後に行う。

11 閉会式について

閉会式は、8月7日(水)競技終了後、13:30より行う。競技者は、メインスタンド前の各県プラカードの後ろに整列する。なお、雨天の場合には、室内走路にて行う。

12 その他

- (1) 棒高跳ポール輸送について
主催者側では行わない。各自で事前に輸送の手続きをしておく。
- (2) 応援について
 - ① 集団での応援は、他の競技に支障のないように行う。特にトラック競技のスタート前は静粛にする。また、フィールド競技の進行に配慮する。
 - ② メインスタンドでの集団応援や最前列で立ち上がったの応援は禁止とする。
- (3) 応援横幕・のぼり旗の設置について
 - ① メインスタンド最前列手すりへの設置は禁止する。
 - ② 芝スタンドに設置する場合、最上段のフェンスとする。ただし、通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
 - ③ 応援横幕・のぼり旗の固定はロープ類を使用すること。粘着テープの使用は禁止する。
 - ④ 個人名の応援横幕・のぼり旗等は禁止とする。
- (4) 本競技場周辺へのテント設置は、許可区域のみとする。メインスタンドは、シート・テントの設置、また、ロープ等での場所取りはしないこと。
- (5) メインスタンド裏2階コンコースと、補助競技場に各県待機場所を設ける。
- (6) 不明な点は、大会本部に問い合わせる。